

(令和4年1月試験研究業務月報)

試験研究課題：新規発生害虫ネギハモグリバエ別系統の発生生態の解明と防除技術の確立

研究

ネギハモグリバエ バイオタイプBに対する殺虫剤の効果検定

ネギハモグリバエはネギの葉に潜り込んで食害する害虫です。従来は白い筋状の被害でしたが、近年は葉全体に広がり葉が白く枯れたような被害が発生しています。これについて、当所では2018年3月に新しい系統(バイオタイプB)による被害であることを報告しました。

当所ではバイオタイプBに関する各種殺虫剤の効果検定*を行っています。効果の高い薬剤を明らかにし、効率的な防除につながるよう支援します。

- * 効果検定：府内で採集、累代飼育した本虫に薬剤に浸漬したネギ葉を供与し、幼虫及び成虫の死虫数を調査します。



(左) バイオタイプA (右) バイオタイプB
ほ場での被害の違い



(左) 成虫 (右) 幼虫
(見た目によるバイオタイプの判別は困難)



ネギの葉の殺虫剤浸漬処理